

市長とのかがやきライフトーク

と き：平成23年2月16日（水） 19：00～20：30

ところ：牧田支所

団 体：九里半歴史文化回廊 12名

【団体】

九里半街道についてはご存知のない方が多いかもしれませんが、江戸時代に養老町の三湊から牧田・関ヶ原を通り米原市の朝妻をつないだ街道です。太平洋と日本海を結ぶ街道の一部として重要な役割を果たし、江戸時代中期までは物流の街道としては多くの方々に利用されていました。

中山道、美濃路は有名ですが、九里半街道はまだまだ知名度が低いため、この街道を通じて郷土の歴史や文化、自然を学び広く発信していくことを目的として平成22年3月に新しく設立しました。

会員数20名程度を目標にしていたのですが、現在はそれを上回る49名になり、市と協働でどんなまちづくりができるかを考えているところです。



【団体】

街道の名前は知っていても、実際に通ったことのない方も見えたので、昨年5月に養老町の三湊から米原の朝妻までバスで視察をしました。今までは国道しか通ったことがありませんでしたが、脇に入るとすばらしい景色が広がり、新しい発見がありました。

【市長】

今は車社会になり、どうしても幹線道路を通る方が便利ですので、旧道を通ることはほとんどありませんが、旧道にしかないよさがありますね。

【団体】

牧田には3年前に設立された牧田まちづくり協議会有り、その中の地域づくり部会で九里半歴史文化回廊が活発に活動しています。

昨年10月23日には、第1回目の九里半ウォーキングを開催しました。天候にも恵まれ、歴史に関心のある方、ウォーキング愛好家など、202名の方に参加をいただきました。

上石津体育館を出発し景観のよい牧田川左岸を通り、5キロくらい散策してもらうコースになっており、各ポイントでは会員が史跡・旧跡について参加者に説明をしました。牧田地区の食生活改善推進協議会や交通安全指導員のみなさんの協力をいただき、牧田の大きなイベントになりました。

街道は名神高速道路で寸断され全体の7割くらいしか残っておらず、参加者のみなさんにすべて歩いてもらうことができませんので、一部は堤防を歩いてもらいました。

【市長】

中山道、美濃路、墨俣の鎌倉街道などもありますが、新しい道ができてしまい、昔の街道が完全に残っているところはありませんので、九里半街道がずっと歩けるようになるといいですね。

船町は水門川から揖斐川を使って桑名までの拠点になっていましたから、九里半街道とは逆の方向になりますよね。牧田川を利用することはなかったのですか。



【団体】

牧田川は雨が降ると水位がありますが、普段は水深が浅かったため利用できなかったようです。また、大垣の船町が物流の拠点になるにつれて、養老町の三湊が衰退し、九里半街道の利用が減ってしまいました。

【団体】

九里半街道の中で牧田宿が一番栄えていたと言われていますが、牧田宿の中に金毘羅大権現という高さ4メートルくらいの大きな常夜燈があります。建てられてから170年以上経過しておりだいぶ傷んでいます。

毎年9月には八朔祭（別名かぼちゃ祭）という大垣市の重要無形文化財に指定された祭を開催しています。シャギリという子どもたちのお囃子もありますが、少子化の問題があり存続が危ぶまれているような状況ですので心配しているところです。

【市長】

国勢調査では牧田地区の人口は増えていましたが、担い手の問題はどこの地域でも共通の課題になっています。

【団体】

史跡めぐりが目的ではなくウォーキングを目的とした参加者もみえたため、ウォーキングのペースに差が出てしまいましたので、参加者の目的にも考慮しながら計画することが必要だと感じました。

【市長】

歩こう会など、多くの方が健康のためにウォーキングをされていますので、歩くことを目的に参加される方が多いようですが、距離がちょっと短いかもしれませんね。また、史跡めぐりにも参加してもらえよう工夫が必要なのかもしれませんね。

【団体】

距離が短いかもしれませんが、途中で説明をしながら歩くとだいたい2時間くらいのコースになっています。説明しながら牧田地内をすべて歩いたら、丸1日かかってしまいます。ウォーキング目的の方と史跡目的の方を分けて、歩いてもらうようなことも検討しないといけないと思っています。



ウォーキングをしてみて分かったことですが、公衆トイレがないことが一番困りました。ふれあいグラウンドと支所を利用しましたが、参加者のみなさんに不便をかけることになってしまいました。

【団体】

当日は食生活改善協議会のみなさんに協力をいただき、地元のお米と栗を使った「くりはん」というおこわを販売しました。

150食分用意したのですが、評判が良く、持って帰る方もいたために、あっという間に売り切れてしまい、買えなかった方もいましたので次回からの課題です。

【市長】

第1回目の開催で予想ができませんし、足りないくらいの方がいいのではないですか。当然、歩けばお腹が減りますから、「おこわ」の販売はみなさん喜ばれたでしょうね。それにしても、もう少し歴史や文化に目を向けてもらえるとよかったですよね。

【団体】

この時の評判がよかったので、いろいろなイベントで「くりはん」を提供してほしいという要望があったのですが、栗がいつでもある訳ではありませんので、要望に応えることができない状況です。

【市長】

特産品の販売も必要だと思いますけど、九里半街道沿いに花木があるとウォーキングの時に違う楽しみがあつていいと思います。

水嶺湖、ウッディドーム、多良峡など紅葉の時期はきれいですので、九里半街道沿いにも桜やモミジがあるといいですね。

【団体】

藤古川、牧田川沿いの堤防には桜があり、春になるときれいですが、街道沿いには花がありません。桜のきれいな時期にウォーキングを開催するとみなさんにも喜んでもらえると思いますが、年度初めは他の行事とも重なったりしますので開催は難しいかなと思っています。

【団体】

九里半街道は基本的に物流の街道なのでPRの仕方が難しいです。例えば、赤坂宿の和宮行列などのように魅力のあるものがあるといいのですが、今後どのようにPRして、参加者を増やしていくかも課題だと思っています。

街道はだいたい舗装されていますが、一部未舗装の部分があるため、会員で草むしりなどをして参加者のみなさんに安全に歩いてもらえるように街道の維持管理にも努めています。

【団体】

九里半街道を多くの方に知ってもらうために大垣市市史編纂室の協力をいただきパンフレットを作製しました。また、7月には記者クラブで記者会見をさせてもらい、いくつかの新聞社で大きく取り上げてもらうことができました。そのおかげで、大きな反響があり多くの問い合わせをもらいました。また、地元のテレビでも取り上げてもらえました。

【市長】

私も新聞記事は拝見しました。紙面の都合もあるのですが、新しいことは大きく取り上げてもらえることが多いですね。

タイミングもあると思いますが、どんどん新しいことを企画していただいて記者クラブへ資料提供されるといいと思います。



【団体】

昨年、牧田地区の常夜燈が大垣市の景観遺産に指定されました。牧田地区には11か所に常夜燈があるのですが、案内板がありませんので設置していただけるといいと思います。また、今後は牧田地区を「常夜燈のさと」としてPRし、町おこしをしていけたらと思っています。

【市長】

ウォーキングされる方たちにも案内板があると、興味を持って見てもらえるかもしれませんね。

【団体】

昭和初期の旧牧田郵便局の建物が、現在使われずにそのまま残っています。持ち主の方からも保存・利用について前向きな返事をいただいていますし、歴史的な価値の高い建物だと思いますので市としても利用について検討していただきたいです。

【市長】

今日はみなさんから九里半街道・牧田宿について教えていただきありがとうございました。今後もウォーキングをはじめとした事業で牧田宿をPRしていただき、さらに「常夜燈のさと」「くりはん」などを通じて地域活性化に取り組んでいただきたいと思います。